

# 基本計画に係る意見および修正事項等

資料B

※簡易な校正、文字修正、追記、削除等は含みません。

H290124時点

番号	ページ	意見	対応策(案)	備考
1	全般	全庁あげて、持続可能な行政経営を図るべく、公共施設等総合管理計画に基づく施設の最適化を推進することを明記すべき。	行政経営の方針を追記します。	H281215 庁内意見
2	全般	市民像については「自分」視点の表現で統一すること。	修正します。「男女共同参画」「環境・景観」「資源・エネルギー」「地域福祉」「住まい・生活」「安全・防災」「農林畜水産」「活躍・雇用」	H290118 策定幹事会
3	全般	「主な事業」については、別冊でまとめて一覧化して提示したほうがわかりやすいのではないかと。	検討します。	H290121 策定委員会
4	全般	関連条例・計画等に市民参加の形態(審議会)などを記載してはどうか。	限られたスペースであるため、資料として分野別計画と審議会の一覧を記載することとします。	H281220 総計審(第10回)
5	位置づけと機能	成果指標と進行管理はどのように行うのか。	成果等を把握のうえ、総合計画審議会、議会へ報告のうえ、公表します。次年度の施策構築につなげます。	H281226 策定幹事会
6	行政経営の方針	「市民との対話」とあるが、地域内分権や住民自治との表現にしてはどうか。あくまで地域がメインで、行政はフォロー役である。	「市民自治を追求する」に修正します。	H290106 市長意見
7	行政経営の方針	「確実に成果をあげる」とあるが、結果責任や成果を追求することが重要。	「成果主義を追求する」に修正します。	H290106 市長意見
8	施策の体系	「保険制度の適正運用」は、分野の「地域福祉ではなく、「保健・医療」のほうが馴染むのではないかと。	修正します。	H281215 庁内意見
9	チャレンジプロジェクト	「子どもたちが不安を感じることなく」は不定的であり、肯定的表現のほうがよい。	「子どもたちが安心して」に修正します。	H281215 庁内意見
10	チャレンジプロジェクト	「子どもたちが不安を感じることなく」は不定的であり、肯定的表現のほうがよい。	「子どもたちが安心して」に修正します。	H281215 庁内意見
11	チャレンジプロジェクト	地元、域内、域外の定義を示すこと。	追記します。	H281215 庁内意見
12	チャレンジプロジェクト	オール甲賀の意味あいを明確にしてほしい。	市民、コミュニティ、民間事業者、行政を含めて、地域全体をひとつの経営体として捉え、それぞれが協力・連携した取り組みのことです。	H281220 総計審(第10回)
13	チャレンジプロジェクト	施策の方向性について、魅力ある表現に改めるとともに、「チャレンジ」らしい内容としてほしい。	修正します。	H281220 総計審(第10回)
14	チャレンジプロジェクト	チャレンジプロジェクトの施策の数が多いため、絞り込みを行うこと。	26の施策の方向性を10のプロジェクトに絞り込みました。	H281220 総計審(第10回)
15	チャレンジプロジェクト	忍者に係る施設等の整備が必要ではないかと。	行政がビジネスチャンスの「きっかけ」をつくるなど、官民連携による施設整備を促す表現としました。	H281220 総計審(第10回)
16	チャレンジプロジェクト	「学力」だけを向上させるのではなく、それらを含めた「生きる力」を延ばすものである。	修正します。	H280106 市長意見

17	チャレン ジプロ ジェクト	「学力向上」とあるが、学力だけでは不適切ではないか。	修正します。	H290118 策定幹事会
18	チャレン ジプロ ジェクト	「介護・福祉」の組み合わせは適切か。	介護とは、加齢によって体の機能が衰えた方や、心身の障害により自らの意思で体を動かすことができない方などを支援することです。 福祉とは老人介護、障がい者介護も含めて、社会的に困っている人たちの全てに救いの手を差し伸べるための思想や制度です。 福祉の対象は、老人や障がい者だけでなく、貧困、子ども、病人なども含んでおり、厳密には福祉のなかに介護は含まれません。 しかしながら、福祉では分野が具体的にイメージしづらいため、介護・福祉とします。	H290118 策定幹事会
19	チャレン ジプロ ジェクト	「介護・福祉」の「状況」を問わずとあるが、「場所」のほうが適切ではないか。	修正します。	H290118 策定幹事会
20	チャレン ジプロ ジェクト	基本構想の「人口フレーム」と「10万人都市にチャレンジする」というのは、ギャップを感じるが整合性はどうか。	基本構想は12年後の人口の枠組みを表すものです。今後の人口減少は不可避の課題ですが、可能な限り速やかに転入と転出を均衡させ、新市建設計画における目標である10万人都市へのチャレンジに向けて、スタートを切る4年間の重点的な取り組みとの位置づけです。	H290123 策定委員会
21	チャレン ジプロ ジェクト	時代は「雇用の創出」から「労働力の確保」に移っている。失業者の職を創出するだけでなく、若者や女性が働きたくなる魅力ある職場環境づくりが必要である。	チャレンジプロジェクトで追記するとともに、「活躍・雇用」で詳細を明示します。	H281220 総計審(第10回)
22	市民自治	自治振興会にやらされ感がある。目標像を「地域のことは地域で決める」という地域内分権を進める表現としてはどうか。	修正します。	H280106 市長意見
23	市民共生	「私」は[わたくし]ではないか。	人権に係る総合計画と合わせます。	H281215 庁内意見
24	市民共生	外国人がボランティア活動だけでなく、企業で活躍するための支援が必要である。	行政と企業の連携により、多文化共生を推進することを追記します。	H281220 総計審(第10回)
25	市民共生	多文化共生については企業との連携がポイントである。	追記します。	H281220 総計審(第10回)
26	シティ セールス	課題1のプラットフォームの意味は何か。わかりにくいのではないか。	プラットフォームとはビジネス上の基盤となる環境や組織のことです。わかりやすい表現に改めます。	H281215 庁内意見
27	資源・エ ネルギー	施策内でごみの持ち去りについて記述しているが、他の施策とバランスが取れていない。	削除します。	H281226 策定幹事会
28	資源・エ ネルギー	あいこうか市民像の書きぶりが「～なっている」は少し他人ごとを感じる。より、市民目線の表現に変更されたらいい。	変更します。	H290118 策定幹事会
29	地域福祉	高齢者の地域包括ケアシステムだけでなく、全世代の地域包括ケアシステムの記述が必要ではないか。	地域福祉の目標像に記述しています。全世代・全対象型の地域包括ケアシステムとは、総合戦略にも掲げられたものであり「すべての人が年齢や状況を問わず、介護や障がい。子育て、生活困窮者といった垣根を越えた支援を行うこと」です。	H281215 庁内意見

30	地域福祉	課題4の「生活保護制度の運用」は、自立支援メニューのひとつであるため、削除願う。	削除します。	H281226 策定幹事会
31	地域福祉	全世代・全対象型は行政が取り組める施策のことであり、地域の状態像を表せていない。	より子育てから高齢者まで、行政だけでなく、地域自らの行動も含めた包括支援とのニュアンスに変更しました。	H281226 策定幹事会
32	保健・医療	施策として「感染症予防」を追加できないか。	重要性は認識していますが「疾病・早期対策の推進」に含んで構成します。「～また、感染症予防にも取り組みます。」を追記します。	H281215 庁内意見
33	保健・医療	市民像「正しい知識を身につけ、自らの健康は自ら守っている」⇒「正しい知識を身につけ、健康づくりに取り組んでいる」へ修正	修正します。	H281226 庁内意見
34	安全・防災	傷害は犯罪に含まれないか。	ここでいう傷害は犯罪事件を連想するため、「ケガ」とします。	H281215 庁内意見 H281226 策定幹事会
35	安全・防災	「水害に強いまちづくりの取り組み」について、追記してはどうか。	追記します。	H281226 庁内意見
36	安全・防災	成果指標のセーフコミュニティの表現については、認証を継続しなければ使えないのではないか。	より幅広く指標を取れる表現として「防災・安全」とします。	H281226 策定幹事会
37	農林畜水産業	農林畜水産業の「水」を削除されたい【理由】	市内においては、漁業組合もあり水産業に係る方もいることから、削除は好ましくないと考えます。	H281215 庁内意見
38	活躍・雇用	「女性の活躍」を「女性が参画・能力発揮できる環境づくり」に変更したい。	女性の参画については、男女共同参画社会づくりとして、別項目があるためこのままとします。	H281215 庁内意見
39	活躍・雇用	指標を「20歳代（男女）の完全失業率」から「就労している市民がワークライフバランスについて満足している割合」に変更できないか。	指標を変更します。	H281215 庁内意見
40	活躍・雇用	20歳代（男女）の完全失業率は、毎年度把握が困難であるため、市内企業における女性管理職の割合に変更したい。	変更します。	H290118 策定幹事会
41	道路・交通	成果指標のJR草津線の乗降客数について、複線化等をにらんだうえで、目標となっているか。	まずは本数の確保など、利便性の向上に向けて取り組みます。	H281215 庁内意見
42	道路・交通	SA、PAの未利用地やスマートインターチェンジは、今後4年間での実現性は高くない。優先順位を踏まえた整備が必要である。	インターチェンジ周辺の利活用を進めるとともにサービスエリア、パーキングエリアについては、利用目的を明確にするなど、費用対効果等を踏まえて進めることとします。	H281226 庁内意見 H290118 策定幹事会
43	道路・交通	施策 広域幹線道路において、子どもの通学は考えられないため、表現を改めてはどうか。また、SA、PAの活用については、上記と同様の理由により、修正したほうがよい。	修正します。	H281226 庁内意見
44	道路・交通	基本的に生活道路は維持管理とするため、「整備」は削除したほうがよい。	市道の拡幅、歩道等の整備が抜け落ちるため、削除しません。	H281226 庁内意見

45	道路・交通	広域幹線道路（国道、主要幹線道路）と生活道路（県道、市道）の区分があるが、市道の幹線などの区分が抜けているのではないか。	市道（幹線道路網）の整備について施策を追加します。	H281226 策定幹事会
46	道路・交通	「デマンドタクシー」の表現は市民にはわかりにくい。	「予約型乗合タクシー」へと修正します。	H290118 策定幹事会
47	学校教育・青少年	地域学など前向きな内容が多いが、いじめ、就学援助など差し迫った課題に言及されていない。	修正します。	H281226 策定幹事会